

【 歯科撮影 部門 】

● 歯科撮影検査とは？

歯やその周囲、または歯の全体像を撮影する検査で、パノラマ撮影、セファロ撮影、TMJ (Temporomandibular joint: 顎関節) 撮影、デンタル撮影等があります。

パノラマ撮影は、歯や顎関節を含めた口腔全体を 1 枚の写真を撮影します。歯や歯茎はもちろん、下顎骨や副鼻腔の状態も観察でき、歯周囲のバランスなどを抽出するのに適しています。

TMJ 撮影は、口を開けたときと閉めたときの顎関節の状態を撮影し、顎関節症の診断に有効です。

セファロ撮影は、歯列矯正治療を目的とした撮影で、毎回同一条件で撮影できるように規格化されています。上下顎の大きさやズレ、顎の形、歯の傾斜角やかみ合わせについての評価を行います。

デンタル撮影は、3.1cm×4.1cm 程度のフィルムを口の中に入れ、目的とする歯を撮影します。狭い範囲 (1 枚当たり、隣接する 3-4 本) の細かい情報を得るのに適しています。

2021 年 10 月の機器の更新により、パノラマ撮影、セファロ撮影、TMJ 撮影は IP (Imaging Plate: イメージングプレート) から FPD (Flat Panel Detector: 平面検出器) に、デンタル撮影はフィルムから IP に撮影方法が変わり、素早い画像確認ができるようになりました。

● 装置 (使用機器)

セファロ・パノラマ X 線撮影装置

[Hyper-G CMF (朝日レントゲン)]



歯科用 X 線撮影装置

[ALULA (朝日レントゲン)]



● 撮影方法・検査の流れ

1. 中央放射線部受付で受付をし、歯科系撮影室の近くの椅子に腰かけてお待ちください。準備ができましたら、放射線技師が受付番号でお呼びします。
2. 眼鏡、ピアス、イヤリング、ネックレス、入れ歯、ピンなどの頭の周りの取り外し可能な金属類は外して頂きます。
3. パノラマ撮影、TMJ撮影、セファロ撮影では、頭を固定して撮影します。
撮影時間は12秒程度かかります。
デンタル撮影では、椅子に深く腰掛けてもらい、専用のIPを口の中に入れて撮影します。撮影自体は数秒で終わりますが、IPの処理に1-2分程度の時間がかかります。
どの検査も出来上がった写真は、院内のネットワークで医師のもとに送信します。画像確認後受付表をもって歯科外来までお戻りください。